

地域との連携が認められました!

わらどん

平成29年12月8日

発行責任者
早川北小学校
校長 小林 玲子

「地域学校協働活動」 文部科学大臣表彰

学校に嬉しい連絡が入りました。地域の皆様と共に取り組んでまいりました「地域と連携した学校教育の実現」が評価され、文部科学省から表彰されることになったのです。早川北小学校の地域に支えられた教育活動は、これまでも県内外から注目され、私たちもいろいろな研修の場で発表の機会をいただいています。

今回は、その中から次(下欄)のようなことが取り上げられました。
これまでの取り組みに心から感謝申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。
表彰式は、十二月七日、文部科学省にて行われ、町と学校代表で参加しました。



いらっしやいませ! 完売です!

奥山梨はやかわ紅葉と食まつりに出店しました

十一月十二日「紅葉と食まつり」で、北小児童会が大根を販売しました。今年は秋に入り急に寒くなったので、食まつり当日にちょうどいい大根が収穫できるかヒヤヒヤしました。心配をはねのけ、間引きをしたり草をとったり、毎日水やりをしたりと、頑張って取り組んできた子どもたちの願いが通じて立派な大

根が収穫できました。開店すると「今年も来たよ」とお得意様が顔を覗かせてくれました。一、二年生のゲーム屋さんも大繁盛で、景品の「アサガオの種」「フウセンカズラの種」を大勢の人がもらってくれました。子どもたちが今年咲かせた花は、来年どこで咲くのでしょうか? 今年の収益金は約二千円。校庭で遊ぶ道具を買おうと、楽しく思案中です。

《早川北小学校での取り組み》

早川北小学校は地域の方々と連携し、地域の教育素材を生かした学校教育を実現している。野鳥公園と連携したBEANSの活動は、施設の専門性を学校教育に取り入れた共同企画として、大きな効果をあげている。地域の方々は、「わらべどんぐり祭り」の準備、交流会の協力、民話劇の取材協力、水泳の講師、地域で働く方による講話、遠足や校外学習への協力など日本一のサポーターである。また、北っ子応援団は、山村留学希望者をサポートして児童増に貢献している。学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの豊かな学び、安全・安心を支えている。



早川の未来を語り合おう お宝発見、今回のお宝は辻町長

十一月二十二日「お宝発見」に町長さんが来て下さいました。

「みんなの願いを町政に生かすよ」「ぐじぐじしてちゃだめだ、考えたことは大きな声で伝えよう」「町は、みんなで作るもんだよ」優しい笑顔と包容力で、子どもたちに早川町のこれからについて話してくださいました。「どんな町にしたい? みんなの声を町長さんに聞かせて」と言われると、子どもたちは待ってましたとばかりに夢を語ります。会場のランチルームはまるで町議会の会場。「森林を生かして、大きなテーマパークができたならみんなが来るんじゃないかな」「買い物不方便だから、もっとお店が欲しい。お店があったら、温泉帰りの人も買えるよ」「動物と遊べるところがあつたらいいな」とかく私たち大人は、すぐに実現可能なことを選別しようとしています。でも、町長さんは一つ一つの意見に「うん、うん」「頑張ってみるよ」と受け止めてくださいます。リニアや高速道路の実現も、二十年ほど前に保育園の子どもが描いた夢だったというお話を聞いて、子どもたちは自分の夢の実現を確信していました。当日の様子は、早川北小学校Facebookや上流研のホームページでも紹介しています。



BEANS フィールドワーク



11月 12月



紅葉と食まついで出店



持久走で体力作り



校外学習(2年生)

